

「すべては未来のために」

VOL.8
2025.3

山口県議会議員 県政レポート

もりしげ哲也

発行元：山口県議会議員もりしげ哲也事務所 〒744-0015 山口県下松市大手町3丁目5-9

TEL 0833-45-0055

FAX 0833-44-5558



～ごあいさつ～

早春の候 皆様方におかれましては ますますご健勝のことと お喜び申し上げます
平素より もりしげ哲也の活動に対して ご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます

さて 早いもので本年も暦の上では春分を迎えました この冬は 二度の大きな寒波もあり
幸いにして本県では 大きな被害はなかったものの 日本海側では災害級の豪雪で 多数の被害も
出るなど 厳しいものとなりました

また 長引く物価高騰や人口減少による人手不足などが 私たちの生活にも 大きな影響を
及ぼし続けています

2月定例会において こうした状況を踏まえ新年度予算案 7,398億4千万円 が 提案され
新年度予算は

①「安心と豊かさを実感できる 県づくりの推進」

②「将来に希望をもって 暮らし続けられる地域社会づくり」

③「国の経済対策に呼応した 物価高騰への対応」

この3つの柱を中心としたもので 3月14日本会議にて可決されました

この厳しい状況の続く中でも 私はあらゆる課題に 真摯に向き合い 不都合な真実から
目を背けず 県民目線で県政の諸課題解決のため 皆様のご期待に応えるべく 全力で頑張ります
どうぞ もりしげ哲也の活動に ご理解頂きご協力の程をお願い致します

森繁 哲也

令和6年度 環境福祉委員会県外調査視察 (令和6年5月28～31日)

北海道渡島総合振興局

北海道医療的ケア児等支援センター

札幌市動物愛護管理センター あいまるさっぽろ



脱炭素化に向けた取組等について調査するため、北海道渡島総合振興局を訪問し、ゼロカーボン北海道の取組等について説明を受けるとともに、道有施設として初めて設置されたV2Bシステム等を視察し、意見交換を行いました。



医療的ケア児への支援について調査するため、北海道医療的ケア児等支援センターを訪問し、医療的ケア児とその家族が適切な支援を受けられ、安心して生活するための取組等について説明を受けるとともに、施設を視察し、意見交換を行いました。



動物愛護やZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の推進について調査するため、札幌市動物愛護管理センターを訪問し、動物愛護の取組や市有施設の新築・改築等に伴う脱炭素化に向けた取組等について説明を受けるとともに、施設を視察し、意見交換を行いました。

1. 人手不足対策について
2. 県職員の人材育成・確保について
3. 産業脱炭素化の推進について
4. スポーツの推進について
5. 不登校児童・生徒への対応及び支援体制について



詳しい質問内容・答弁については
山口県議会ホームページよりご覧ください。

一部抜粋してご紹介します。

1. 人手不足対策について

質 本県は全国に比べて早いペースで人口減少と少子高齢化が進み、進学や就職による若者の県外流出がそれに拍車をかけており、私が最も懸念するのは、人手不足による企業活動の停滞、本県の経済への影響である。

企業の活発な事業活動を支えるのは「人」であり、県内企業が厳しい経営環境に的確に対処し、更なる成長に繋げるには、産業人材をいかに安定的に確保できるかが鍵となるため、若者の県内就職・定着の着実な推進とともに、外国人材を含め国内外から幅広く人材を獲得する、実効性の高い取組を戦略的に展開してもらいたい。

人口減少による深刻な人手不足の中、若者や外国人材の確保・定着に戦略的・効果的に取り組むことが重要だが、県は今後どのように取り組むのか、所見を伺う。

答 知事 村岡 嗣政 少子高齢化の進行と若者を中心とする県外への人口流出により、人口減少が一段と厳しさを増す中、地域産業が持続的に成長・発展をしていくためには、これを支える企業における人材の確保・定着に向けた施策をスピード感をもって強力に推進していくことが極めて重要です。

私は、本県経済の持続的な成長を確かなものとし、活力に満ちた山口県が実現できるよう、大学や企業、国内外の関係機関等と緊密に連携し、人手不足対策に全力で取り組んでまいります。

3. 産業脱炭素化の推進について

質 令和5年7月、県議会は「産業脱炭素化推進特別委員会」を設置し、以来約1年半にわたり調査研究を行ってきた。そして、昨年12月、本県産業の脱炭素化を一層推し進めるための取組の方向性等についてとりまとめ、知事に対し、「産業脱炭素化推進に関する要請」を行った。

来る脱炭素社会において本県が産業競争力を失うことなく、更なる発展・成長を遂げることができるよう、産業界のニーズを丁寧に聞き取り、世界情勢や国の動向をしっかり踏まえ、着実に取り組みを進めていただきたい。

2050年カーボンニュートラルを契機とした産業力の強化に向けて、県は今後、産業脱炭素化の推進にどのように取り組んでいかれるのか、所見を伺う。

答 産業労働部長 高林 謙行 県では、令和5年3月に策定した「やまぐち産業脱炭素化戦略」に基づき、2050年カーボンニュートラルを原動力とした本県産業の成長・発展を目標に掲げ、積極的に取組を進めています。

こうした取組には、国による大規模な経済的支援や規制緩和等が不可欠であることから、引き続き、関係する事業者等のニーズを丁寧に聞き取りながら、国に対して十分な措置を要望してまいります。

県としましては、今後とも、県議会と連携を密にし、国内外の動向を的確に捉えながら、県内企業の産業力強化に向けた脱炭素化の取組を後押ししてまいります。

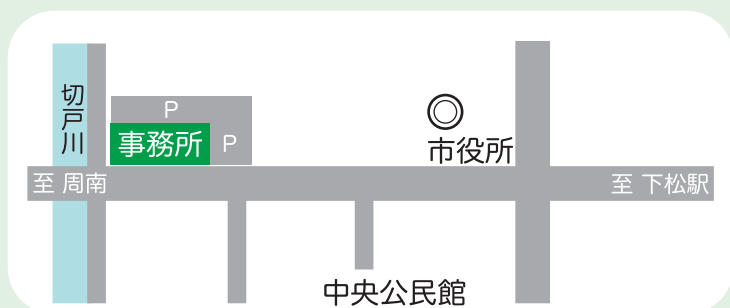
プロフィール

経 歴

- 昭和54年10月2日 下松市高砂町生まれ ■ 平成7年 下松中学校卒業 ■ 平成10年 下松高等学校卒業 ■ 平成15年 中央大学法学部法律学科 卒業
- 平成18年(株)ホーユー介護サービス 入社 ■ 平成22年 下松市議会議員選挙 初当選 ■ 平成26年 下松市議会議員 2期目
- 平成27年(有)フォーチュンマネージメント 代表取締役 就任 ■ 平成30年 山口県議会議員選挙 初当選 ■ 平成31年 山口県議会議員 2期目
- 令和5年 山口県議会議員 3期目 ■ 令和5年 環境福祉委員会委員長

主な役職

- 社会医療法人同仁会 理事 ■ NPOくだまつ絆星スポーツクラブ 事務局長 ■ 下松市サッカー協会 顧問 ■ 下松市柔道協会 理事
- 下松飲食業協同組合 顧問 ■ 自民党山口県連 青年局 局長(R5～)



山口県議会議員

もりしげ哲也事務所

〒744-0015

山口県下松市大手町3丁目5-9

TEL 0833-45-0055 FAX 0833-44-5558

mail ypa.gikai020028@35ypa.jp